第６６号　開成校新聞　令和４年（２０２２年）３月９日（水曜日）

開成校新聞

2021冬イベント特集

演劇部　冬公演

２０２１年１２月３日、演劇部の前期・後期合同冬公演が行われた。この公演では、演劇部が中・高文連で披露した演劇を開成生向けに発表した。公演を観に来た開成生で多目的ホールが満員となった。

前期生は「また明日、公園で」を上演した。この演目はコロナ禍で戸惑う人々の心や行動を表現することがテーマであった。前期演劇部の部員たちは、各々の声を合わせて世間の声を表現したり、声を張り上げて自分の主張をすることで、人々の心を表現した。公演後、部員の３年生徒は「初めての公演である一年生も含め、前期生全員で公演をつくり上げることができて楽しかった。たくさんのお客さんが来てくれてすごく嬉しい」と述べていた。

後期生はコミュニケーションの苦手な二人の女の子をテーマにした「グッド・モーニング」を上演した。本公演は音響一人、演者二人で演じながらも演技と音響のマッチした素晴らしい作品であった。後期生の部員達は「知っている人の前で公演をしていつもと違った緊張感があった。これからも何度か公演を行いたい」と述べていた。

本校では演劇部のみならず吹奏楽部の定期演奏会が行われるなど部活動の成果を見ることが出来る機会が多くある。仲間の頑張りを是非多くの人に見てもらいたい。

発　行
開成中等新聞局
＊　＊　＊
東区北22条東21丁目
TEL　788-6987

赤い羽根募金

２０２１年１２月１４日から２０日まで、本校玄関前で赤い羽根募金が実施された。

この赤い羽根募金は毎年ボランティア委員会によって行われており、ボランティア委員はクラス２人ずつ選出されている。一年生と二年生の計４人で募金活動が行われた。

今回の赤い羽根募金は２００円募金するごとに雪ミクのクリアファイルが貰えた。ボランティア委員によると、雪ミクのクリアファイル欲しさにお金を崩して募金した生徒も居たそうだ。

また、先生方の募金も多くあったと答えてくれた。実際今回取材中にも何人かの先生方が募金していく姿をみかけた。

募金活動は誰かの為にもなり、自分も募金対象の被災者を考える機会となる。皆さんも募金活動を見かけたら募金してみてはどうだろうか。

1/365コマ

今シーズンは雪が多く、臨時休校になることもありました。３階のバルコニーでは積もった雪と雪庇がつながり、話題となりました。雪解けが待ち遠しいです。

日立の電子顕微鏡

２０２１年１２月１４日、本校に卓上電子顕微鏡miniscopeが日立より貸し出された。

日立は２００８年より子どもたちが科学に親しめるような独自の教育プログラムを積極的に企画・運営している機関に対して電子顕微鏡を貸し出している。

日立は文部科学省が指定する高等学校（SSH）を中心に巡回設置している。（日立ホームページより）

実際に電子顕微鏡を使った四年生は、観察したものを「これは何を顕微鏡で見た物でしょう」という掲示物として作成し、１階大階段前に掲示していた。次回貸し出された時には身近なものを覗いてみてはどうだろうか。

▸電子顕微鏡を使用する四年生

生徒のひとりごと

４年４組　クマ丸：青春をしたかった（諦め）

３年３組　ちあき：マックのポテトおいしい

４年３組　アスコルビン：今は冬なので春にこの文章を読んでいただきたいです。聞いてください、粉雪

５年４組　脳筋ユニバース：※※※※※※※※※※※※※※※※※※

（訳：ノパスモッテコネィチァポマノムェデォルパァス♡）

新聞局員　紡ぎすぎて：脳筋ユニバースさんの原文の解析が大変でした。

お知らせと報告

開成中等のホームページトップに「開成校新聞」のページが出来ました。２０２１年に発行したイベントなどに関する記事などが見られます。是非チェックしてみて下さい。そして新聞局室前には今年度発行した記事をすべて掲示しています。こちらもチェックしてみて下さい。

新聞局では記事掲載依頼を募集しています。よろしくお願いします。

発行責任者　寺島

▲新聞局から▲今シーズンは雪かきが大変でした。